日伯新聞
伯國聖市マニエスト・カルデン街二五八番地
Rua Manoel Tavares Bilvão Bueno, 407
發行所日伯新聞社
本紙定價半月分
外國郵稅共百ミル

全支總攻擊態勢

先づ徐州に鐵槌加へ
抗日軍覆滅の聖戰開始
中南支にも皇軍 戰機狙ふ

UP始め外電の報道する所を綜合するに皇軍は愈よ對支新國是に從ふ抗日軍殲滅の聖戰を大々的に開始せんとする模樣で、北支戰線では先づ徐州を中心とする隴海線を京漢線方面より東方海岸海州に至るまで占據、徐州に集結の中央軍主力を撃滅せんとしてゐる、南支にあつても廣東並に粵漢鐵路は連日の如く皇軍荒鷲部隊の空襲を受けてゐる模樣だが、支那側のニュースは皇軍の未だ行動を起さぬ漢口戰線乃至は南支海南島で或ひは占據地を支那軍奪還したとか、或は陸戰隊の海南島揚陸失敗したとか、頻りに自軍の勝利を傳へてゐる、かゝるデマ報道は結局皇軍が決然、北支、中支、南支に至つて總攻撃開始の肚なることを裏書するものと觀測される

皇軍、惡戰苦闘か
待たる徐州大會戰
最大の敵は惡天候

【上海廿日UP】日支兩軍は今や徐州を中心に津浦、京漢兩線を横斷する隴海線一帶に一大激戰を展開せんとし、支那側は蔣介石自ら前線に出馬督戰、之を最後の必死の抵抗を試みんと着々態勢を整へてゐるが、外國武官側では、徐州會戰を以て日本軍にとり事變以來の最大難戰だと觀測

天候は連日冷雨降り續き寒氣極めて厳しく惡條件で、その上支那軍は恐らく從來にない頑强な抵抗を試み、日本軍は天候と中央軍大軍との双方と惡戰苦闘するであらうとしてゐる

敵軍早くも
後方に備ふ

【徐州二十日同盟】冒埠東南方鳳陽には顧祝同麾下の正規兵及び共產軍游擊隊約三万が我が北進に備へてゐるが、我が壓迫に將兵は全く戰意喪失至るところ掠奪を行ひ逃亡兵續出の有樣である

皇軍四方より攻撃
廣東にも戰機動く
傳へられる我南支作戰

【漢口廿日UP】當地で得た情報によると日本軍は愈よ廣東總攻撃の肚を固め、支那側の最後の海への出口を封ぜんとしてゐると云はれ、日本側の作戰は次の通り四方より廣東を衝かんとするものと觀測してゐる

一、第一軍は廣東南方八十哩の廣海寨に上陸、廣東灣南岸に沿ふて前進

二、第二軍は香港の裏側バイアス灣に上陸廣九鐵路（廣東、九龍、香港）を遮斷

三、第三軍は汕頭（廣東より二百二十哩東方）に上陸、廣東、福建兩省の連絡阻止

四、第四軍は廣東灣右岸の虎門寨を攻撃

既に日本艦隊三十餘隻、航空母艦三隻は南支沿岸に待機中と云はれる

千弗で邦船爆破計畫
日枝丸危ふく助かる
北米シャトルの怪事件

【シヤトル廿日同盟】郵船日枝丸は十九日夜シヤトルに入港グレート・ノーザン波止場の荷役人夫が一人の怪しい勞働者風の男を發見警察へ引渡した結果、恐るべき日枝丸爆破計畫が發見した、その男が逮捕された直後日枝丸の附近に男の溺死體が發見されたがこれも同類なること判明した

逮捕された男はジョーゼ・バートリツヂといふ二十二歳の勞働者で警察の取調べに對し左の如く自供した

死んだ男はラフル・フォーサイトといふ男で自分は數日前バンクーバーで彼と逢ひ一千弗貰つて時計仕掛の爆彈で日枝丸をやつゝける計畫に手を貸すことを頼まれた、我々二人は十九日夜波止場へ來て爆彈をスーツケースに入れそれを鐵道の枕木に縛つて日枝丸の方へ泳いで行つたが途中でフォーサイトは見えなくなつた

警察では潜水夫を使つて日枝丸の附近を捜索した後布切と針金と電工用のテープを發見したゞけで爆彈は遂に發見されなかつた、警察は事件を重大視し背後關係の調査を努めてゐる

我艦、海南島見舞ひ
敵兵周章、必死抵抗

【上海廿日UP】UPの傳へクワ到着後の國民政府立法委員長孫科の動靜は各方面から異常な注意を惹いてゐるが、ロイテル通信社モスクワ支局の情報によれば

孫科は既にソヴエット政府當局者と數回に亘り會談を遂げたといはれる、但しスターリンとは最高會議で多忙なため未だ會見の機會を得てゐない、モスクワ外交界では孫科は結局蔣廷黻前駐ソ大使の後任としてモスクワに留まるのではないかと見られてゐる

現地外交官
續々歸京
外相に報告の爲

【東京廿一日同盟】上海にあつて列國との折衝に當つてゐた伊藤述史公使は廿二日午前九時半、又日高駐支大使館參事官は同日午前七時十分何れも東京驛着歸京するが、兩氏共直ちに廣田外相に會見、現地の情勢を報告すると共に重要打合せを遂げる筈

國府の命令次第
支那領事引揚げ

【東京廿一日同盟】駐日各支那總領事は引揚げに決し國民政府の命令次第引揚げる旨廿日外事課長に意志表示した

廣東軍將領、續々歸還
百姓に化け戰線より逃亡

【香港二十日同盟】北上中であつた廣東軍將領楊杰は南京陷落後農夫に身をやつし上海經由廣東に歸還したのをはじめ同じく注照華、唐生光、龍誠ら北上中の廣東軍將領は續々廣東に集中してゐるので總帥余漢謀は近く蔣鴻台、蔡廷階、李啓防、廣東軍の北上參戰、北上部隊に對する物資の補給、民衆武裝の各問題などにつき協議することゝなつた

今後の調停は諦め
獨乙、全く手を引く
駐支軍事顧問も引揚げ

【紐育二十日同盟】日本政府の對支軍大聲明により獨逸政府は日支和協斡旋を中止するに至つたが、二十日紐育タイムス紙伯林特派員は獨逸政府は今後最早積極的態度に出る意向はない旨左の如く報じてゐる

獨逸政府は今後日支紛爭に對し厳正中立の態度を持し極東の事態に捲き込まれるのを極力回避するため消極的傍觀の立場に歸り、紛爭の解決はこれを英米兩國に委ねる意向と見られる、現に國民政府軍事顧問として活躍してゐる二十人足らずの獨逸人將校に對しても本國で現役將校が不足してゐる實情に鑑み近く本國に引揚げさせる方針の模樣である

ソ聯の勸告に從ひ
外蒙軍、皇軍迎撃を斷念

【上海廿日UP】支那側の情報によれば十五万の大軍よりなる外蒙軍は日本軍と一戰を交へんとして進出開始したが、ソ聯側より外蒙軍と日本軍の衝突はソ聯を戰火に捲き込む恐れがあるとの抗議に接し、急據俱樂部へ撤退したが、右に就いては國民政府自身もソ聯の言分を諒解、外蒙側に對し撤退を勸告したと云はれる

ソ聯の鎖國主義
外國領事館續々閉鎖
國内相剋の餘波

【東京廿一日同盟】ソ聯邦内の國内相剋は愈々激烈を極めの反逆罪の名の下に處刑される者は枚擧に遑なき程で、ソ聯政府首腦部はかゝる眞相の國外に流漏することを極端に恐れ外國人の入國、旅行を厳重に制限し秘密保持に努めてゐるが、廿一日入手せる確實なる情報によればソ聯政府は更に本年に入つてから既に四十ケ所の外國總領事館及び領事館に對し二ケ月以内に閉鎖を要求し益々鎖國的傾向を顯著ならしめてゐる、その重なるものは次の如くである

土耳古、英吉利、瑞典、諸威、エストニア國に對しレニングラード領事館、チエツコスロバキア國に對しキエフ領事館、イラン國に對しバツーム、バクー、エリバン外五領事館

なほ我國に對しては既に昨秋領事館相互同數主義を名目にしてオデツサ、ノヴオンビルスク兩領事館の閉鎖を要求し來り又獨逸に對しては昨年末レニングラード及び浦潮領事館の閉鎖を求めてゐる

大艦巨砲時代再來
主力艦噸數制限愈よ撤廢か
日本人會も誕生

【紐育二十日同盟】國際建艦競爭の激化につれ英米佛三國政府は一九三六年倫敦海軍條約の主力艦噸數制限條項を破棄する意向と傳へられるが、紐育ヘラルドトリビューン紙華府支局は二十日英米佛三國政府による右主力艦噸數制限條項の廢棄は今や時日の問題と見られるに至つたと報

【華府廿日同盟】倫敦條約の噸數制限條項破棄問題を繞り世界海軍界には大艦巨砲時代の再來せんとする情勢が展開されんとしつゝあるが、廿日ユーピー華府支局の報道によれば米政府も亦この情勢に順應して十八吋砲を搭載する四万噸以上の超弩級艦建造を具體的に考慮中といはれる、尙當局は右に關し言明を避けてゐるが、ル大統領と密接な關係ある議員連及び陸海軍當局は右を敢て否定せず米國政府は事實左の如き大艦の建造を考慮中である旨伝してゐる

フランコ軍機
バルセロナ爆撃

【バルセローナ廿日同盟】フランコ政權所屬の精鋭爆撃機六臺は十九日午後突如バルセローナを空襲爆彈多數を投下した、空襲警報に市民は爭つて地下室、地下鐵に避難したが遂に死者百名、負傷者多數を出した、市内の建物數個は爆彈が命中して全壊し各所に火災を發するなど市街は非常な混亂に陥つた

太原明朗化
日本人會も誕生

【太原廿日同盟】我軍の太原占領以來既に二ケ月餘、山西の都太原市は全く平和の氣が漂ひ婦人子供等は警備の皇軍將士とニコ〳〵談笑してゐるといふ則かな風景を見せてゐる、城内に立戻つて來た市民の數は既に五万余りに及び日本人居留民の數も二百五十名なるが、ル大統領と密接な關係ある一方と見られる、廿日午後には太原日本人會の發會式が擧行され邦人の活躍は愈々顯著となつて來た

カーザ東山
CASA TOZAN, LTDA.
Praça Mauá, 25 -- C. Postal, 911 SANTOS
Phones: 2105 e 2106 -- End. Teleg: "TOZAN"
東山銀行部
伯貨定期預金 一ケ年六分
サンパウロ事務所
Rua Florencio de Abreu, Ns. 74/76
Telephones: 2-1685 -- 2-2981
取次所
Rua Conde do Finhal. 120 - Tel. 2-3706
Caixa Postal, 528 -- SÃO PAULO -- End. Teleg.: "TOZAN"
リンス事務所
Av. Voluntario Rosalino Silva, 147
Caixa Postal, 11 -- LINS
Phone 240 - End. Teleg: "TOZAN"

こちらの話
三浦生

當局の眼が
當局の手入

新憲法が發布され新らしい方式でやつて行くやうになつてから、ポリチコ團體は御法度とあつて若解散を命ぜられた、これは內輪だけのことではなく外國人の團體でも、若くも政治の臭ひのするものは總て手入れが行はれて居る、獨逸人のナチス運動、伊太利人のファツショ運動なども、もう此國では大ビラにやれなくなり、常に其の上に光つて居て、少しでも怪しいと見ると直ぐ手入をする、その間にあつて獨り日本の國粹運動のみが大ビラに許される譯がない、先頃解散を命ぜられた有冀のインテグラリスタこそは、あらゆる外國人の政治運動、といふよりも本國主義運動に向つて監視の役を勤めて居る、地位を替へて考へれば如何にも尤もな話で、更生の途上にあるブラジルが外國人に膝手を眞似をされて、眼つて居られるものでない、そこで問題になるのは在伯日本人の團體だ、社交、スポーツ、宗教、慈善の團體迄はいゝとして假にも政治がゝつた事に手を出すと、必ず當局の眼に止まる、何かあるものと覺悟して居なければならない領事館などではそんな先の事などは少しも考へて居ないから、日本人會を强化するのは外務省の方針だなどと勝手なことを云つてるが一體あの會を何といふ名目の下に其筋へ屆けるのだらう、屆出のない團體はモグリで是非とも屆出なければならぬが……斷つておくが屆出は帝國領事館にではなく、此國の警察にだよ、思ひ違ひをせぬ樣にたのむよ……その屆出が相當ケ敷からう、一體何する團體だと聞かれたら、ハツキリ皆が皆まで答へられるかな、强化屋さんなどは補助金をやるに足るだけの會さへ出來れば、役目はすんだ後はどうならうと

俺の知つた

こつちやないと云ふのだらうが、引受けた役員たちこそ災難なことで、若しそれが少しでもポリチコ掛つた團體と見られたら直ぐ警察から一寸來いを喰らふのだ、何ヶ會社務、何々商會主が時々警察に呼ばれるなど、余りいゝ格好ではないが、强化日本人會の性質が多分にその危險を持つてる、世界の形勢は變つてる、これ迄は外國人がどんな團體を作つて、どんな運動をしようと格別問題でなかつたが、所今は形勢一變、社交かスポーツの教育慈善の團體でない限り

ノンビリと

はやつてゝ行けなくなつた、お芋の煮えたも御存じなく、强化々々とのぼせてゐるが、警察へ引張られたり手入れを喰つたり、惡くすると解散を命ぜられたりせぬ爲には、從來の通り其だケチな事をやつて假りにもポリチコ掛つたことに踏み外さぬ樣、常に細心の注意を拂つて居なければならない、此點を忘れると必ず警察の手入れが來る、强化屋さんには氣の毒だが日本人會の仕事はあれやこれやの差障りがあつて甚だケチなことに限られてる、秘露やアルゼンチンのようには參らない、何しろ手入れをされたり

解散を喰つ

ちや豪無しだから、それに障らぬ樣常にカモフラージして行かねばならない、ハテサテ窮屈なことではある

BANCO ESPECIE DE YOKOHAMA, LTD.
(The Yokohama Specie Bank, Ltd.)
Rua da Candalaria N.º 23
Caixa Postal, 380 - Rio de Janeiro
切り取り手紙へ
⊙鄉里送金
⊙日本貨預金
新爲替管理法に據り送金許可遲延致しますから追て御通知申上ぐる迄當店へ御送金御見合せ下さい
⊙伯貨預金
定期預金六ケ月以上利率當分年三分五厘の割であります、外に當座預金、特別當座預金等御便宜御取扱ひ申上げます
横濱正金銀行
リオ・デ・ジヤネイロ支店

健康增進に
豫防に 治療に
老いも…若きも…健康者も…病者も
成功への近道は の常用にあり
◈ 御求めは各地藥店又は本社出張員へ ◈
日伯社營業部

日支事變下最初の通常議會けふ再開

擧國一致議會風景展開せん

【東京廿一日同盟】事變下最初の第七十三回帝國通常議會は廿二日再開される、この日貴族院は午前十時本會議を開き勞頭近衛首相は帝國不動の民政黨を代表して川崎克氏が一般施政方針に關し質問、次いで政友會を代表し島田俊雄氏が事變中に於ける政府の根本方針につき質問を行ふが、政府も政黨も各党共に擧國一致體制を強化しやうと努めてゐるので從來とは又變つた眞剣に入る、先づ二荒芳徳伯が教育問題に就いて質問する、衆議院は午後一時本會議を開き近衛、廣田兩相より貴族院に於けると同様の演説をなし、次いで賀屋藏相の財政演説あつて質疑に入る、先づ民政黨を代表して川崎克氏が一般施政方針に關し質問、次いで政友會を代表し島田俊雄氏が事變中に於ける政府の根本方針につき質問を行ふが、政府も政黨も各党共に擧國一致體制を強化しやうと努めてゐるので從来とは又變つた眞剣に入る、先づ二荒芳徳伯が教育問題に就いて質問開するだらう

項目の羅列避け重要點のみ說明

首相の施政方針演說

【東京二十日同盟】二十二日議會休會明け勞頭行はる、各種近衛首相の一般施政方針演說の項目を列擧することを避け草案は二十一日の閣議に於て正式決定するが、その內容は時局の重大性に鑑み徒に各種の項目を列擧することを避け重點主義により

一、帝國不動の國是

一、支那事變に對處する政府の決意

財政、產業、內政諸問題

三、

【東京二十一日同盟】近衛首相は二十一日午後三時廣田外相、賀屋藏相と相前後して宮中に參內、天皇陛下に拜謁仰せ付けられ、同日の閣議で決定した議會休會明け勞頭行ふべき一般施政方針演說の內容につき委曲奏上、種々御下問に奉答して退下、引續き外相、藏相も拜謁仰せつけられ同様外交及び財政方針演說につき奏上した

頑迷支那を救ふは我が國喫緊の使命

政友會、黨大會で宣言

【東京廿日同盟】廿日の政友會大會に於ける宣言要旨左の如し

東亞の和平を永遠に確立し固有の文化を世界に光被せしむるは帝國傳統の國是なり、隣邦支那を善導して外力壓制の手より救ふは我國喫緊の使命なり、何ぞ測らん國民政府頑迷にして東亞の大局に通ぜず悉に事を構へて支那事變を惹起す、皇師膺懲の聖戰を進めて玆に半歲、武威赫々として中北支を平定し國都南京を攻略し暫く軍を勒して彼等に反省の機會を與へると雖も却つて脚下照顧の途を捨て、遠交近攻の邪怪に趨り專ら抗日に耽りて滅亡の一路を辿らんとするが如し、この秋に於て我が國が斷乎不動の方針を樹立して隱忍持久の態度を闡明せるはけだし當然の歸結にして、東亞安定の前途に現實性を加へたるものとして吾人は全幅の贊意を表するところなり、然れども今や我が國の東亞に課せられた任務甚だ重し、外には支那に於る新政權の發達を助長して更生支那の建設に協力し、第三國の認識を是正し、東亞の安定勢力たる我が國の地位を確立せざるべからず、我が黨は時局重大の難所に起ち盡忠報國の念愈よ切なり須らく不磨の眞情を體して內外の政策を進め國民の總意を察して公義を强調せんか憲政の本義鼓に達せられ民心の安意以て期すべし

米國、大艦を建造か

大統領、議會へ提案

【紐育廿一日ハバス】ヘラルド・トリビューン紙所報によればル大統領は海軍建艦に關する對議會教書に於て繼續二割增の新建艦案を提示すべく、その結果米海軍は現在より九十七隻乃至百隻增艦となるが、その內容は消息通の傳へる所では次の通り

主力艦七隻（中二隻建造中）、航空母艦二隻、大巡三隻、輕巡四隻、驅逐艦三十隻、潛水艦五隻並に補助艦五十隻

而して日本の大艦建造の噂に刺戟され七隻の主力艦中五隻は四萬三千乃至四萬五千噸とされる計畫だと

軍部大臣こもぐ

根本方針を聲明

議會勞頭、我作戰を說明

【東京二十日同盟】杉山陸相及び米內海相は再開議會の勞作戰行動、長期膺懲に對する根本態度に關し說明を行ふこと、なつてゐるが、米內海相は頭適當なる機會を求めて日支事變その後に於ける陸海軍の發言の根本要旨は左の如きものと見られる

一、海軍は陸軍と協力し暴支徹底的膺懲に邁進し各方面に於ける陸軍上陸作戰に協力すると共に全支に於ける重要軍事施設、軍事交通動脈の爆擊に從ひ、更に全支沿岸航行遮斷を繼續して蔣政權の所謂長期抵抗を粉碎することに努力し着々所期の効果を收めつゝある

一、帝國海軍は一面西太平洋に及ぼさるべき英米ソ聯各國海軍の趨勢に對し深甚なる注視を續けつゝあり、最近各國に於て老大なる建艦計畫が新に進められつゝあるものと見られる

門司華僑會新政權支持

【門司廿一日同盟】門司華僑會主催北支政權支持結成大會は廿一日午後二時から天繭舍で擧行され、門司代表李春來氏始め小倉、戸畑の各北九州都市から集つた代表等廿五名が參加、暴政の蔣政權から離脫して、安居樂土北支新政權並に長崎領事館門戸辨事所に通告、祝賀宴を張り終つて一同八幡宮に參拜、新政權の發展と日支親善を祈願し手に手に新支の五色旗を打振つて市內をねり歩き市役所始め各方面を訪問市民に敬意を表した

滿洲重工業會社事業計畫進む

先づ鑛山並に飛行機製造事業

【東京廿日同盟】滿洲重工業會社は三月末までに增資を行ひ滿洲國の資本參加により四億五千萬圓の國策會社を完成する筈で、目下着々手續きの他の準備を急ぐと共に新會社の事業計畫を進めつゝあるが、最近會社設立後の第一事業として鑛山及び飛行機製造事業に着手することに決定した、鑛山事業即ち鐵及び石炭鋼、銀などの鑛山並に探金事業などを全滿を通じて總括的に開發經營するため重工業の小會社として資本金五千萬圓の滿洲工業會社を設立することに決定、二月中旬までに設立準備を完了する筈で資本は重工業の出資となる豫定又飛行機事業に就いては現在の滿洲航空（資本金一千萬圓）より飛行機製造部門を切離してその所有とし十萬坪の工場及び職工等を引繼いでこれを擴張する豫定で、引繼がれる資產は約八百萬圓程度と見られるが、これを引繼後二千萬圓に增資の豫定である

而してこの飛行機工業は滿洲重工業が企圖する大規模の飛行機工業とは全然別個のもので滿鐵より滿洲航空隊へ讓渡されるもので、その當面の處置として右の如く事業擴張を行ふもので、大規模生產は將來外資及び外國技術との提携によつて行ふものと見られる

駐名古屋支那領事

新政府歸屬

【名古屋廿一日同盟】中華民國臨時政府絕對支持の運動を進めてゐた名古屋市內在住の民國人は廿一日正午を期して一齊に五色旗を揭揚し新生活のスタートを切つた、なほ名古屋駐在總領事も近く正式に新政府歸屬の態度を表明するものと見られる

對米宣傳に

東京布哇會乘出す

【東京二十日同盟】事變發展と國際關係の深刻化に今般東京在住の布哇緣故者間にかゝる時こそ對日宣傳に或ひは在米同胞に力强く働きかける組織が必要であるとの呼びが起り、二十日午後六時日比谷レインボーグリルに於て東京布哇會創立總會が開かれたが、今後は關西方面とも聯絡を採つて日布日米の親善に努力すると張り切つてゐる

滿鐵理事十名に增員

【東京二十日同盟】滿鐵東京社長伊澤道夫氏並に滿洲國錦州省大長平島俊雄兩氏の滿鐵理事任命は一兩日中に發令を見る筈、これによつて滿鐵理事は十名に增員、東京支社次長岡田卓雄氏が昇格することに決定、次長は當分同氏が兼任する筈、而して理事任命と共に伊澤氏は上海に駐在し上海事務所を統轄し平島理事は北滿方面事務擔當としてハルビン若くは新京に常駐することになつた、なほ現在理事宇佐見完二、阪濟喜一兩氏は將來設立される北支開發會社に入る筈

パルプ增產

五ケ年計畫成る

閣議に附議正式決定

【東京廿日同盟】綿製品及び羊毛品に對するステープルファイバーの强制購入に伴つてパルプの需要は激增しつゝあるので、過般來企畫院及び商工省を中心とし關係各當局間に於てパルプの增產五ケ年計畫案を練つてゐたが、この程成案を得るに至り、廿一日の閣議に附議正式決定することとなつた

增產計畫案の內容は昭和十七年に於て內地及び滿洲を合せて百六十五万噸（現在設備能力八十七万噸）を供給せんとするもので、昭和十七年の需要見積りたる製紙用パルプ百二十万噸人絹用パルプ五十万噸合計百七十万噸に對し殆んど自給自足の域に達するわけである

異種族發展に怯え崩芽を刈る國替へ

開拓先驅者、半島人も犧牲

ソ聯の異民族……強制移住

ソヴイエト聯邦では支那事變のどさくさで各國の關心が支那に注がれてゐる際に乘じ極東地方に居住する朝鮮人を强制的に去る九月以來實一二ケ月間に廿萬を突破し、しかもこれ等半島人の中には明瞭に日本人として わが公館に登錄されてゐるものが多數あるので、わが方ではこれに對し正式抗議をなし目下引續モスクワにおいて兩國間に外交折衝が續けられ、その成行は各方面の注目を集めてゐる

之等　半島人の移住先當局が沈默を守つてゐるので判然とせず、一體生きてゐるのか死んでゐるのかとさへ噂されてゐるが最近その一部がカザクスタン沙漠の中心地アルマ・アタ（かつてトロツキーが流された場所）に到着したといはれてゐるので大體中央アジア方面に送られたものと見られてゐる、廿萬といはれる これ等極東地方の半島人は近年移住したものばかりでなく、すでに古く十九世紀の半頃から移住したものもその大部分は沿海州方面の興凱湖西方地區、スパイクイマン、ポシエット、グロデューヴオ、ウオロロフ（舊ニコリスク）ウラジオ等滿ソ國境地帶に居を占め農業を生業とし米、小麥、燕麥、大麥、大豆、亞麻、甜菜、煙草等の栽培、海岸地方の住民は漁業に從事し優秀な成績を擧げ特に沿海州地方の水田開發に對しては先驅者的功績を擧げてゐるのであるが

かゝる極東地方開拓の恩人を何故大量移住を强制的に行はねばならなかつたについては種々の說が流布されてゐるが從來ソ聯當局の對朝鮮人政策は所謂民族主義を宣傳して懷柔を行ひ、或ひはウラジオに極東師範大學を設立し、その他各地に

學校　を設け又は鮮字新聞「先鋒」を發行し朝鮮人特別聯隊すら置くといつた風であつた、ところが滿洲國建國以來反對現象が極端に表はれ、西部國境地區のポーランド人約五十萬人を極東地方に送りまたは沿海州の移民を除隊兵や大シア人の移民定着をはかつた事情などを綜合すれば、ソ聯當局がいかに異民族、外國人を恐れた强力な中央集權的な政策によつて全く强靱な鐵頭で縛られたソ聯の壯場の中にぶちこまれ愛國心と對外敵愾心との注射によつて、自由も自決も忘れさせられてゐる、かうした民族政策の一大轉換を促した有力な原因はドイツにナチス出現後のソ聯國際情勢の惡化である

この結果ソ聯當局は明かに二つの相反した民族政策をとるにいたつた、その第一は民族の懷柔政策で能率增進運動のスタハーノフ運動を中心に頻りに各民族代表をモスクワに招いて歡待し或ひは民族出身者に總花式に勳章を授け褒賞を贈つたその二は還情主義と全く反對の彈壓政策であつて、本年夏以來西部國境に近いウクライナ、カレリヤをはじめ中央アジアのウズベツク、タヂツク、キルギース各共和國、フリヤート、蒙古等において所謂ブルジョアリ民族主義者として逮捕されたものが續出したのはこれがためである、いまやソ聯內部においては民族の自由も自決も歸らぬ夢と化し、だコミンテルンの諸外國、殊に所謂植民地攪亂政策の標語としてのみ益々利用されるにいたつてゐるのである、かくて自肅、國內統制に邁進してゐるソ聯は對異民族政策に對しては隨所に憫みを暴露してゐるが、對鮮人問題もその中に包含されるものと見られる

自決を强調することは分裂の危險をはらむばかりでなく、文化の向上によつて民族の分離的徵候が認められたので、現在この多數民族は中央當局の强力な中央集權的な政策によつて全く强靱な鐵頭で縛られたソ聯の壯場の中にぶちこまれ愛國心と對外敵愾心との注射によつて、自由も自決も忘れさせられてゐる、かうした民族政策の一大轉換を促した有力な原因はドイツにナチス出現後のソ聯國際情勢の惡化である

この結果ソ聯當局は明かに二つの相反した民族政策をとるにいたつた、その第一は民族の懷柔政策で能率增進運動のスタハーノフ運動を中心に頻りに各民族代表をモスクワに招いて歡待し

移し、西部國境地區のポーランド人約五十萬人を極東地方に送りまたは沿海州の移民を除隊兵や大シア人の移民定着をはかつた事情などを綜合すれば、ソ聯當局がいかに異民族、外國人を恐れた强力な中央集權的な政策によつて全く强靱な鐵頭で縛られたソ聯の壯場の中にぶちこまれ愛國心と對外敵愾心との注射によつて、自由も自決も忘れさせられてゐる、かうした民族政策の一大轉換を促した有力な原因はドイツにナチス出現後のソ聯國際情勢の惡化である

この結果ソ聯當局は明かに二つの相反した民族政策をとるにいたつた、その第一は民族の懷柔政策で能率增進運動のスタハーノフ運動を中心に頻りに各民族代表をモスクワに招いて歡待し

民族

の平等、自決、文化的發展であつた、ところが百數十種を越える多數の民族を包含し一億六千五百萬に達する人口を擁したソ聯にあつては、民族の

社告

アラカツ聖パロエ延ストラ長パウロ
ララクアラ市ンボンチ郊ラ線外
デ延ア面ル
有田精二
安藤國雄
金子佳夫
手島明己
鈴木雄典
田中行
金森茂
伊藤二郎

右各出張員を出張致させて居ります、諸賢の御配慮を願上ます

日伯社營業部

CASA GRANDE
ビネイロス最大の店
小間物、アルミニヨ、玩具、電氣器具類、皿、紙類、香水、ガラス器、金物
……在庫豐富……
皆様の家の道具は安くて良い當店のもので……
R. Butantan, 43 (Lgo. do Pinheiros)

Casa Medifer
寫眞機其他附屬品一切
寫眞愛好家諸氏の御用命を待上ます
現像、燒付寫
引伸複
R. S. Bento, 307 antigo 37-A Caixa 843 Fone 2-5883 S. Paulo

ROFECO 印
エンシヤーダ五個付草刈機
挺付きと無しの二種

この型は草刈りに最も適し鋼製の強靱製のもので、全て自由製、柄は木、挺は開放自
お値段……百鈎
Rodrigues Ferraz & Cia.
R. Florencio de Abreu, 56
Caixa Postal, 2583 S. Paulo

今度久々にて又當地に出て參りました廿八年間の經驗を以て皆様の御引立に預り度いと存じます、何分の御用命の程を……
矢部洋服店
矢部政三
聖市コンセレイロ・フルタード街百拾番

Enxada "BUGRE"
農家必携ブーグレ印エンシヤーダ
無敵のエンシヤーダ
全國一流店にあり

PHARMACIA IRIS
R.11 de Agosto, 72 Tel. 2-4092 S. Paulo
一流醫家より定評あるイリス藥局
（渡邊銃器店向ひ）

社告
本社東京支社
東京市京橋區槇町二丁目三番地
社員　鈴木喜一
　　高柳實
　　太田兼四郎
御利用の程願上ます
日伯新聞社

至急讓り度し
ボテキン及製菓工場目下盛業中にて得意多し
右歸國の爲居拔けの儘好條件にて讓り度し、御希望の方は左記へ御來談、詳細面談
高田
聖市ビネイロス區（コチア產組前）
カテドラル・アルコヴエルデ街三三二

製劑技術の最高峰！
アルセニアット・デ・シュンボ
（横濱植木會社品一手販賣）
着色品を!!
日本農林省農事試驗場分析證明　第二九四二五號
サンパウロ生物學研究所　同　第一一四九號
成分　全砒素量　三二・八〇%
　　水溶性砒素　〇・一〇%
　　水分　〇・一四%
「白色砒酸鉛は時としてフアリンニヤ、砂糖等の食糧品と間違れ易きため從來の白色品に青淡色を附し、而も現今製劑技術の最高峰として世界に誇り得るものです」
其他白色品＝日本及び獨逸品
▼農藥、農具、肥料、金物類、案內書及び値段表は御申越次第御送附申上げます
カーザ東山
C. Postal 528 - S. Paulo
支店　リンス・ブロミツソン

正確な時間を知るには？
…當…
CASA MASETTI
の時計が一番です
腕時計・懐中時計・柱時計・其他各種型時計在庫豐富
當店品お買上の方には抽籤券を差上げます
それは六つの大あたりがあり一月廿九日のロテリア・フエデラールによりきめます
Casa Masetti
Rua do Seminario, 131 e 135 - Tel. 4-2708 e 4-1917

ゼルマニア・燐酸加里
この新肥料は棉蔬菜に最適、見本進呈
チリ硝石使用はその牧種をします
Arthur Vianna & Cia Ltda
Rua São Bento 100 Caixa Postal 3530 São Paulo

第三輯　定値三ミル（送料共）
註譯付ブラジル新憲法
【附】◆新憲法發布の經緯　◆新法令の解說
◆新憲法の特色　◆獨裁政治の物興
聯邦各省大臣寫眞入
新舊憲法を比較し、適切な註譯を附し、誰にもわかり易く說明してある！一讀すれば政治、稅制、勞働、教育、社會等あらゆる法律の根本概念が得られる！原文と對照すれば絕好の衞語研究書！直ぐお求めあれ！（送金は切手でも可）
EIZO SUZUKI 郵函三二一三
ブラジル法制研究所

新移民法案

勞働省原案を借用し集團移民に大鐵槌か

國家主義的色彩極めて濃厚

既報の通り新移民法案は目下勞働、司法、農務、外務等關係各省代表よりなる專門委員會の手で最後的審議を進めてゐるが、同案は大伯聯邦移植民局長が勞働省法律顧問と協力作成ゼ大統領によつて舊議會に提出された原案を基本とするものと云はれる

三四年舊憲法發布と同時にその移民條項に從つて移民法は當然設定さるべきだつたが、之に應じて最初に現はれたのはバイア選出ワンデルレイ・ピンニョ氏の提案でそれによると

バイア、セルジツペ、アラゴアス、ペルナンブコ、パライバ、北大河、ゴヤス、ピアウイ、マラニョン、パラ、アマゾナスの北伯諸州へは十年間日本移民を強制的に入植させ、歐洲移民も半分は入れ、これら外國人植民地附近には兵營を設置する

といふ日本移民北伯誘入案で次いで移植民院を創設して專門學者に移民法原案を作成せしむべしとのレナト・バルボーザ案が提出されたが、そこで下院財政委員會では勞働省に諮問した結果、勞働省は最初に述べた勞働省原案を提出した、但し同案は同省法律顧問オリベイラ・ヴイアンナ氏により未だ完成されたものでなく部分的なものだと指適された、之を承けて現れたのは法律委員會に提出された所謂ツピノ代案で

之は二分制限に付伯國の利害に從ひ比較的自由な解釋を下し、以て勞力不足に應ぜんとしたもの

移民法案は結局舊議會では委員會廻りをやつただけで解決を見なかつた譯であるが、然し乍ら勞働省原案始め議會に提出された提案、意見書、報告等は一切今回の專門委員會に廻付され、新移民法案も勞働省原案の殆んど全部はそのまゝ採用しさうな模樣で今回委員會が新に定めるのは原案に洩れた植民に關する條項のみだと見られる、新移民法の基礎となるべき勞働省原案中目星しい項目だけ拾ふと大體次の通り

一、二分制限は原則的に維持されるが、國内の事情によつてその解釋は餘程緩和される

一、伯國に卅日以上滯留し事業をなさんとする外國人は全て移民とし、入國の條件は盲目、聾唖、不具、業病浮浪人、十八歳未滿、六十歳以上は入國禁止

一、移民家族中の十四濟未滿並に伯國人と結婚せる外國婦人、農業並に農村工藝技術家、專門家、ツーリスト新聞記者、スポーツマン、企業家等は割當外とする

一、植民地に同一外國人のみよりなる集團を禁止、三割は伯國人を維持すべく不可能の場合は西、葡人を代用

一、植民地内の學校は必ず葡語教育を行ひ、全部葡語教科書を使用、教師は伯國生れの伯國人たること、かくて南伯諸州の獨逸人集團問題等解決する

一、なほ原案はこの點頗る國家主義的で外國語新聞並に出版物の刊行は嚴禁、移民並にその子弟をして强制的に伯國地歴を修得せしめる

原案中目星しい項目だけ拾ふと大體次の通り

一、二分制限は原則的に維持されるが、國内の事情によつてその解釋は餘程緩和される

一、伯國に卅日以上滯留し事業をなさんとする外國人は全て移民とし、入國の條件は盲目、聾唖、不具、業病浮浪人、十八歳未滿、六十歳以上は入國禁止

一、移民家族中の十四濟未滿並に伯國人と結婚せる外國婦人、農業並に農村工藝技術家、專門家、ツーリスト新聞記者、スポーツマン、企業家等は割當外とする

一、植民地に同一外國人のみよりなる集團を禁止、三割は伯國人を維持すべく不可能の場合は西、葡人を代用

一、植民地内の學校は必ず葡語教育を行ひ、全部葡語教科書を使用、教師は伯國生れの伯國人たること、かくて南伯諸州の獨逸人集團問題等解決する

一、なほ原案はこの點頗る國家主義的で外國語新聞並に出版物の刊行は嚴禁、移民並にその子弟をして强制的に伯國地歴を修得せしめる

昨年度邦人の動き

總領事館管内人口六萬人突破近し！

前年比一、六二七名增加

聖市總領事館では管内昨年度の在留邦人の動きを調査中であるがそれによると管内十一區の戸數合計が一〇八五三戸、在留邦人數五八、六三八二〇六名、バウリスタ線一八名でこのうち一家を養つてゐる者が男二、一二六名、女二一八名、またこれらに扶養されてゐる家族が男二一、〇八三名、女二、六三〇名である

更にこれを職業別に見ると農業關係が斷然首位を占め農業經營者男五、一八六名女二六名、この被扶養家族は男一一、九三八名、女一四、一三九名となつて居り同勞働者が男三、八三五名女一四名である

これを前年度と比較すると十一管區とも人口增加で合計一六二七名、そのうち筆頭はソロカバナ線の六五九名、次いでバラナ線の二一九名、聖市二〇六名、バウリスタ線一八五名の順で新興地帶への邦人發展狀態が判る

いま各區別に見ると左の通りである

▲アララクワラ線

本業者	
男	三〇二名
女	七一二名
計	一、八二三名
扶養家族員數	
男	八〇九名
女	七〇六名
計	一五〇〇名
▲ドラデンセ線	
三三〇名	九〇五名
計	一九五〇名
▲バウリスタ線	
一九三名	四八三名
計	二二六四名
▲セントラル線	
七〇二名	五八八名
計	一三六四名
八名	一六一九名
計	三六九三名
▲サンパウロ線	
三四九名	七六二名
三名	八八四名
計	一九九八名
▲聖市近郊	
九五四名	二〇〇四三名
九名	二四五三名
計	五四五九名
▲聖市	
一一九〇名	一三二二三名
九九名	一六九九名
計	四三一〇名
▲ソロカバナ線	
五八〇六名	一一四〇五名
七六名	一四一九二名
計	三一四七九名
▲バラナ線	
一一二七名	二〇七六名
七三名	二七〇九名
計	五九二五名
▲リオグランデ線	
一三五名	二六七名
〇名	二四一名
計	五四四名
▲モヂアナ線	
三九名	四三名
〇名	一一名
一九三名	
計	一一名
本業者	
男	二、二〇〇名
女	三六名
計	二六八名
家族員數	
男	二、〇〇名
女	三六名
計	五八、六三八名

流線型

▼…最近の物凄い暑さのため聖市のフェイラでは魚類にチンタを塗るなどゴマカしてゐるが衛生上の見地から夏中は魚類を賣ることを禁止することになりそうです

▼…これも暑さの話題——聖市のグリロはこの暑さでもあの眞黑な厚い服を着て汗を流してゐるが、今度ブリンの涼しそうな夏服が制定されました

▼…移民五十年祭記念博覽會で外人間に人氣を博した日本館が三コントで身賣してピネイロス區大正小學校の建築材料の一部に使はれる事となつた

▼…昨日リオへ入港した觀光船フランコニヤ號で世界第三の女金滿家グローリヤスチュアート孃が紐育から來た、同孃忽ちリオがお氣に召し世界觀光を止めリオのカルナバル見物に滯在するとある

▼…フェルナンド・コスタ農相の小麥栽培奬勵はいよ〳〵本腰となつたようだが、その利き目も補當で去る十九日もミナス州政府から種子の配布方を申込んでをり今年の作付面積は可なりの數字を示すだらう

▼…二十一日聖市ジョアキン・ジャバーラ街五〇番由里氏宅で自由メソヂスト聖市教會の家庭集會が行はれる

▼…ブラジル移民制限法實施以來各移住組合の宣傳募集は頓に氣乘薄となつたので、バストス移住地事務所では故國への通信文を在伯邦人から募集「俺いらの處ン來れ」と呼掛けることゝなつた

▼…聖市コンデ梅のアマさんの家に昨日泥的が入りました

女に目をつけた調査團

絹靴下の八割が北米再製の日本品

今度は一直線に輸出

過般來伯した商工省派遣の市場調査團は目下奥地視察中であるが、一行は既報の如く各自調査項目を分擔し、殊に當地に輸入される外國品に對し綿密なる調査を行つてゐるが、その參考品としては五百レースのソケットの八割が日本品で北米に一旦渡り更に再輸出されて居ることに目をつけ、これを何んとかして一直線に當地へ輸出せしむることとなつた

連邦使用して居る絹靴下の八割が日本品で北米に一旦渡り更に再輸出されて居ることに目をつけ、これを何んとかして一直線に當地へ輸出せしむることとなつた

中米珈琲國窮迫

アメリカ、調停乗出か

華府來電によればブラジルが新珈琲政策採用の結果中米珈琲生産國に與へた影響は頗る深刻なものがありハイチの如き全く起つ能はざる窮地に追ひやられアメリカに對し善後策考慮方要請したと傳へられるが、經濟學者などブラジルの態度には一點非難の餘儀なきとし、むしろ爾餘の諸國がボゴタ或はハバーナ會議においてブラジルの協調的提議に耳を藉さなかつた事實を指摘し自業自得だとさへ云ふものもある、併しながら伯國の新政策實施直前封度當り十二仙を維持してゐたサントス標準品が九仙臺に下落し他國品も之に準じて暴落したことは此等生産國の製造品購買力の減退を招來し、延いて工業國の輸出を阻害すること尠からず殊になるべきアメリカに與へる影響甚大なる點に鑑み或はアメリカが適當の機會に調停に乗り出すのではないかと消息通は見てゐる

ブラ拓よサラバぢや

叩きつけた三下り半

矢崎氏參事の椅子を蹴る

ブラ拓改組に伴ふ職制改革は既報の通り去る十七日發表されたが、その結果は一昨年末より事務所内に燻つてゐた火藥に引火し遂に爆發するに至つた、今回の職制改革は加藤理事が昨年暮れから本年正月にかけてサントス別莊で練り上げたもので、その内容は表面上別に目新らしい處なくただ參事制を設けた事と移住地の通り去る目につくが、その裏面には相當込み入つた私的感情問題が含まれてゐることが窺へて職員間に不平不滿の聲が上つてゐるが、それ等を綜合すると發表された職員の部署を見ると本部最尚樓關たる秘書並に支配人の陣容中總務田中(平生氏の甥)、拓務矢崎金融西原といふ處は誰が見ても一應頷けるが、業務擔當組合員たる加藤氏が商工秘書を兼任したり、拓務支配人を兼ねてゐる點で、拓務支配人に適當な人物がなくて加藤氏が兼任してゐるのなら別問題だが、拓務支配人としては矢崎、南里、齊藤氏等の植民地に相當經驗緣故ある者が澤山ゐるにもかゝはらず加藤氏が兼任するとはけしからん、それには底があつて加藤氏は拓務を自身でやり、銀行、商事には腹心の部下を配置して完全に實權を握りブラ拓内に加藤王國を築かんとしてゐる

といふのでありその眞僞の程は知らぬが、該改革案が一般に不評判であることは事實でこの職制改革案が發表された十七日矢崎參事は敢然として八年間動め上げたブラ拓に辭表を叩きつけたので、驚いた宮坂專務は矢崎氏と親交深いトレスバラス支配人臼井氏を介して慰留策を講じたが、一艘者の矢崎氏の辭意堅く宮坂氏も遂ひに匙を投げて昨廿一日辭表を受理するの餘儀なきに至つた

不評判な職制改革

溫泉の水でブラタクのアカを落す

八年間築き上げた地位に惜氣もなく三下り半を叩きつけた矢崎氏はイヤ永い間御世話になつた今日限りでブラ拓をやめる事についてはウンと言ひ度い事もあるが止めましこう、來る廿五日頃ポツソ・デ・カルドへ靜養に出かける心算だが溫泉の水でブラ拓の垢を洗ひ流しながら將來の方針を樹てようと思つてゐると多くを語らないが、今後は伯人とタイアツブし廿年來の經驗にものを言はせて拓植事業に精進すると

樹の下敷となり邦人卽死す

伐木中の慘事

去る十九日サントス・ジュキヤ線アンナ・ディアス驛サンタ・テレヂンニヤ在住玉城勝三郎氏は伐木中誤つて木の下敷となり無殘な死を遂げた

インディアン對巨人軍明日スタンで決行

野球

今日迄の成績・巨人軍連敗

聖市球界最高峰球戰としての貫錄を示し既に熱戰を演じたインデアンの第三回戰は愛球家待望の裡に愈よ明廿三日（日曜日）正午よりスタン球場に於て擧行されることに決定した

この對戰は第一回市毛氏送別、第二回は藤原テナー歡迎の意味で行はれ今回のはその第三回戰になつてゐるが、今日までの戰績では六對三、七對六と勝ち得べき實力を擁しながら若手の缺點たる試合下手に禍されて惜敗を重ねてゐる巨人速は今度こそはとの意氣込みは大したものであり、一方常勝イ軍は蓮藤老投手の不調や、名手江剛家君の病氣不出場などのため幾分勢力が抹殺されてゐると傳へられる折、宿望の巨人軍復仇は愈よ完成されるのではないかとの下馬評もあるが

中央委員會

幹部會開催

日本病院建設中央委員會では來る二十四日午前十一時半より總領事館會議室に於て幹部會を開催、日本病院原口事務長及び村上庶務主任の紹介を兼ね同會事業に關し懇談をなすことゝなつた

中央日會

書記長の噂

聖市日本人會の役員選擧もいよいよ明廿三日に迫つたが大體詮衡委員會で決定した顔觸れ通りに無事落着するものと豫想され、領事館側でも安堵の胸をなで下ろして早くも來るべき中央日本人會創立總會の準備をしてゐるが、中日會の有給書記長（月給三コントです）として元耕地通譯協會書記現同仁會囑託もう一つ現總領事坂根準三閣下の從弟の肩書きある新富直吉氏を擔ぎ出さうといふ說が官憲取り卷き連の間に起つてゐる

市況

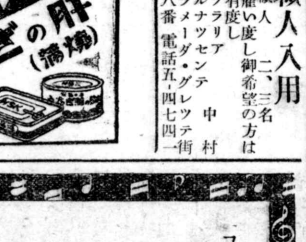
（一月廿一日）

	買	値
▼アラビース		
アグーリヤ（ボン）	九六、〇〇〇	
同	八七、〇〇〇	
▼フェジョン		
ムラチーニヨ（ボン）	三三、〇〇〇	
同	三九、〇〇〇	
▼ミーリヨ		
アマレリンニヨ	一五、〇〇〇	
アマレロン	一六、〇〇〇	
▼バタタ		
スペリオール	二、〇〇〇	
ボア	一四、〇〇〇	
▼砂糖（ペルナン）	六七、〇〇〇	
▼小麥粉	毛、〇〇〇	
バーニヤ（箱）	三三、〇〇〇	
▼マモーナ	六六〇	
▼カフエー（四級品）	三〇、〇〇〇	
アルゴドン	四九、〇〇〇	

爲替

廿一日	
伯英	八九$九六一
伯米	一七$六〇〇
伯日	五$二六〇

職人入用
洗濯職人二、三名
右至急届い度し御希望の方は御來談有度し
チンツラリア　中村
ソールナツセンテ
聖市アラメーダ・グレツテ街一〇一八番　電話五・四七四一



寶石商
カーザ・カストロ
ブラジル拓植組合、海外興業會社、各地小學校幷に運動團體總領事館より御買求めの榮を賜る

肥料は
チリ硝石を施さなければ何んの効果もありません
尚農業に關する御質問は無料にて回答致します、日本文にても可
農業品各種
ARTHUR VIANNA & CIA LTDA
Caixa Postal 3520
Rua São Bento, 109 S. Paulo

齒科機械
Masetti
Rua do Seminario, 131-135
Phones 4-2708 e 4-1017
組織、優秀なる技術者により完璧、機械で一つとして駄目無し、是非オ御用命を、醫科書發行ドントロジコ・パウリスタ

CASA RAPOSA
R. Benj. Constant, 45
São Paulo
硝子板
壁紙、額縁
カーザラポーザ
聖市ベンジヤミン街四三
コンスタント街四三
電話二三九五郵函三三二

シチオ
棉作好適地譲り度し、五十域内處女林四十域、サント・アナスタシオより九キロ、六年もの珈琲一万本、委細面談
D. PINTO
Alameda Glette, 63 S. Paulo

急募
洗濯業希望者七、八名
經驗の有無を問はず夜學の便を計る
昭和洗濯所
聖市ピネイロス
ミゲール・デ・イサ、街五

斬新的確療法
如何なる難病も不思議に治る
元祖　無痛無痕樂玉灸
萬病根治　本院斷食法
鍼灸高專出體驗二十有余年
物療一般　中村鍼灸骨接所
リンス市郵函二〇三シネマ前
特技＝精神病、癲癇、眼口歪、半身不隨、聾唖者、禿頭病、無毛症
婦人の悩み月やく滞り等
中風豫防、姙娠調節

急募
機械工、鍛治工　數名
高給を支給す
○御希望の方は左記迄至急御申込み下さい
チエテ　アゼンシア
移住地　フオード
T. KOSEKI Novo Oriente
Frz. Tietê Est. Lussavira
N. O. B.

謹告
一九三八年一月九日定期總會の結果左記の通り新役員當選致候間此段謹告仕候也
一九三八年一月
會長　藤本象
副會長　多田福次
會計　茶園一
辯論部長　畠山義助
幹事　松浦秀一
同　上田利一
同　箱崎順
同　粥川博
同　今村行
同　里羽眞一廣
ノロエステ線
ヴアル・パライゾ青年會

生徒募集
公認　日伯裁縫女學校
洋裁專修部　女學部
技藝部　料理、生花
公認　葡語小學校
檢定試驗準備科　六ケ月
▼寄宿舍　高層閑靜　入舍入學隨時
規則書御入用のお方は郵便切手を同封ありたし
Rua Galvão Bueno, 362
Telephone 7-7710 São Paulo

銃後に起るこの感激！
進軍の歌
コロムビアが放つた巨彈
軍歌　露營の歌　陸軍戸山學校軍樂隊　中野・松平・伊藤・霧島・佐々木　29539
時局歌　曉の進軍　霧島昇　29516
愛國歌　北支の風雲　伊藤久男　ミス・コロムビア　29517
愛國歌　銃を抱へて君と北支へ　霧島昇　ミス・コロムビア　29496
愛國歌　國境の旗風　霧島昇　ミス・コロムビア　29539
守れ生命線　福田まさる

NIPPAK SHIMBUN

Diario Nipponico de maior circulação no Brasil

Anno XXIII — São Paulo — Sabbado, 22 de Janeiro de 1938 — Num. 1.310

O systema de "guerrilhas" adoptado pelos chinezes como ultimo recurso

O povo convidado a tomar parte em emboscadas covardes

Os soldados chinezes disfarçam-se em paisanos e andam pelas ruas das cidades apparentando pacificos cidadãos. Mas debaixo de suas vestes transportam armas, atacando inesperadamente os soldados japonezes desprevenidos. Esse é um dos methodos de ataque dos soldados chinezes disfarçados e que tem sido usado até agora. No entanto no presente conflicto nippo-chinez, esses soldados chinezes começaram a por em pratica activamente o systema de guerrilhas, com o qual, approveitando-se do povo innocente e ignorante, atacam os soldados japonezes.

Foi descoberto recentemente um documento deveras interessante, publicado e divulgado secretamente pela Commissão Militar chineza; documento esse que incita o povo chinez ás guerrilhas.

O referido pamphleto dizia que no caso de uma invasão estrangeira, o povo deve tomar das armas juntamente com os militares, e estabelece os seguintes principios.

1.o — O systema de guerrilhas é a base do combate do povo chinez, sendo este systema reconhecido pelo governo. Ha duas especies de operação militar: o ataque commum e o de surpreza. Quando o inimigo é forte, é difficil vencel-o pelo combate frente a frente, e nesse caso é preciso usar das emboscadas, atacando o inimigo desprevenido. Principalmente numa guerra defensiva, os guerrilheiros devem unir-se com o povo, com o que se consegue optimos resultados. E' preciso, porém, para isso, que prestem bastante attenção nos tres preceitos basicos seguintes: Segredo, grande rapidez e ataque de surpreza. Este systema, para conseguir resultado satisfactorio, deve ser applicado no meio de multidões.

2.o — Tomar parte na guerra anti-nipponica. Havendo no paiz uma grande força militar, os guerrilheiros poderão combater na primeira linha de batalha, cooperando com os soldados communs.

3.o — Os principios fundamentaes do systema de guerrilhas:

a) — O povo constitue o corpo principal dos guerrilheiros. A noção de patria do nosso povo foi sempre insufficiente, e por isso é preciso que os poderes publicos dirijam-se ás diversas provincias agricolas, e propagando idéas sobre a defesa da patria, sobre o programma invasor do inimigo etc., incite a população humilde para a luta. Para que o exercito consiga alcançar o seu fim ultimo, é indispensavel a cooperação do povo. O corpo de guerrilheiros é composto de homens que não envergam a farda militar.

b) — Os tres principios basicos dos guerrilheiro são: Segredo, rapidez e emboscada. Agir de tal maneira que desorientem os planos do inimigo.

Ha ainda outros principios absurdos e proprios dos chinezes, como sejam:

1.o — Evitar prejuizos e atacar de surpreza. 2.o — Fazer barulho de um lado e atacar por outro. 3.o — Atacar o inimigo silenciosamente, procurando surprehendel-o desprevenido.

NIPPAK SHIMBUN

PROPRIETARIO SACK MIURA

DIRECTOR Masaaki Udihara — GERENTE Alfredo Takeuchi

Redacção — Administração e Officinas
Rua Maestro Cardim, 169
Telephones: 7-3325 e 7-3326
Caixa Postal, 375
Endereço Telegraphico: "Nippak"
SUCCURSAL:
Rua Conde do Pinhal, 154
Telephone 2-3926
SÃO PAULO — Brasil

Assignaturas

PARA O BRASIL

Por anno ..... 30$000
Por semestre ..... 16$000
Numero avulso $500

PARA O EXTERIOR

Por anno ..... 0$000

Annuncios

Temos á disposição dos interessados uma tabella completa de preços para annuncios nesta folha

A mediação allemã e o governo de Tokio

Um communicado do «Gaimushô»

Tokio, 18 — Domei — O ministerio das Relações Exteriores forneceu o seguinte communicado, afim de esclarecer o ponto de vista do Nippon, a proposito da mediação allemã no conflicto nippo-chinez:

"Se o governo nacionalista desejar sinceramente a solução do conflicto nós não recusaremos entrar em entendimentos com elle. Esta orientação foi transmittida ao embaixador Kawagoe.

No começo do inverno do anno findo houve a proposta do embaixador allemão, que se offereceu como intermediario entre os dois lados, allegando ter o governo nacionalista desejado a conclusão de um armisticio com o Nippon. Por essa motivo, acceitando a sympathica iniciativa do embaixador germanico, o governo nipponico iniciou os passos necessarios para o estabelecimento da paz perpetua no Oriente Asiatico. O governo Imperial deu, assim, a ultima opportunidade ao governo nacionalista a se reconsiderar. No entanto, este, não levando em consideração nem a attitude benevola do governo Imperial nem a bôa vontade demonstrada pelo governo allemão, não respondeu com a devida sinceridade obrigando o governo japonez a tomar a attitude proclamada no dia 16 do corrente.

O governo Imperial agradece, comtudo, profundamente, a bôa vontade do governo allemão e o grande esforço realizado pelos embaixadores daquelle paiz na China e no Japão".

Declaração do Presidente do Conselho de Ministros

sobre a orientação do Nippon em face do conflicto nippo-chinez

Tokio, 19 — Domei — O principe Konoye, primeiro ministro, em declaração á imprensa, hontem á tarde, disse o seguinte, sobre a decisão tomada ultimamente pelo governo Imperial em relação á China:

Primeiro Ministro Konoye

"Para destruir o governo nacionalista devemos empregar todos os meios, além das operações militares. No caso, porém, de o governo chinez se submeter em tudo, mudando de orientação e adherir ao novo regimen chinez, reconhecendo a orientação deste, o caso é differente. Nesse caso, entretanto, o entendimento deve ser realisado entre o novo governo e o governo nacionalista, não sendo da alçada do Nippon.

Fica evidente, portanto, que não ha possibilidade de entendimentos entre o Nippon e o governo nacionalista. Suppõe-se que o conflicto não será resolvido se não atacarmos as terceiras potencias que estão atraz da China, mas a attitude dessas potencias modifica-se, de accordo com a marcha dos acontecimentos e, por conseguinte, aquella supposição pode ser modificada. Não é possivel pensar-se, no momento, em uma conferencia nippo-britannica, mas como o povo inglez observa bem a realidade, não ha necessidade de pessimismos, neste terreno. Quanto á U. R. S. S., penso da mesma maneira".

Novamente em fóco a lei de neutralidade americana

Washington, 18 - Domei - Fala-se novamente na applicação da lei de neutralidade por parte do governo norte-americana, em vista do regresso dos embaixadores da China e do Japão, ás respectivas patrias. Porém, ao que parece, o governo yankee não está cogitando de tomar tal medida.

ESPORTES

O representante japonez na assembléa da F. I. A.

Londres, 18 (Domei) — Foi nomeado representante do Nippon, á assembléa geral da Federação Internacional de Athletismo, a se realizar brevemente nesta capital, o dr. Kinoshita, conselheiro da Federação Athletica do Japão. O dr. Kinoshita embarcará, a bordo do "Heian Maru", em Yokohama, a 25 do corrente, com destino a esta capital.

Cartas do Extremo Oriente

Influencia e actividades exercidas pela União Sovietica no Mandchukuo

J. T. Midorikawa

Enviado especial do «NIPPAK» no Extremo Oriente

(*Continuação*)

Em sentido geral, as relações russo-chinezas se desenvolveram de modo insignificante durante os 150 annos que se succederam ao tratado de Nerchinsk. Foi mantida, pois, a balança entre as influencias russa e chineza no Extremo Oriente, sendo que a Russia nutriu ambições de occupar a região do Amur.

Pelo meiado do seculo XIX, porém, a Russia reiniciou a sua politica de expansão territorial, devido ao resurgimento das industrias verificadas no paiz, as quaes, com a collaboração dos senhores da escravatura, procuravam novos territorios para sua expansão. Este phenomeno foi particularmente notavel no Extremo Oriente. Nos fins de 1840, a Russia redobrou as suas actividades na região do Amur, construindo cidades, villas, povoações e fortalezas. Expedições foram enviadas até o Mar de Okhotsk, em conquista de novos territorios. Para superintender taes actividades, foi nomeado governador da Siberia d'Este, em 1847, Nicholas Mouravieff.

As actividades russas no Extremo Oriente, desde o meiado do seculo XIX, não se limitaram nas espontaneas dos invasores mercadores e refugiados religiosos e politicos, como o foi no passado; pelo contrario, taes elementos obedeciam á direcção das auctoridades de St. Petersburg, centro irradiatorio das ordens. Com a expansão do capital commercial, a Russia sentiu agudamente a necessidade de desenvolver o seu commercio exterior, o qual estimulou, por seu turno, a execução do programma de engradecimento territorial.

Nesse interim, a China, que soffrera uma derrota severa na guerra do Opio, em 1839/42, foi obrigada a assignar o tratado de Nankin em 1842, pelo que ella se viu obrigada a ceder á Inglaterra Hong-Kong e abrir ao seu commercio mais cinco portos. Este foi o primeiro tratado inigual firmado com os paizes estrangeiros. Varios annos depois, a parte central da China se tornou theatro de um levante camponez, o qual se desenvolveu em Rebellião de Taiping (1850/64). Como resultado, a burocracia feudalistica que então vinha assumindo o governo se tornou completamete impotente.

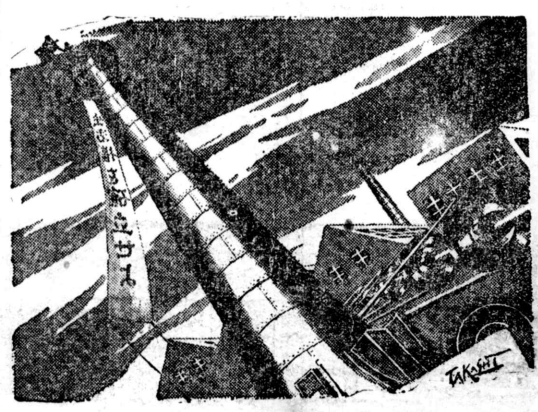
Aproveitando-se da fraqueza da China, a Russia iniciou, então, a usurpação da Mandchuria, e, em 1858, o governador Mouravieff, da Siberia d'Este, compelliu a China a assignar o tratado de Aihun, com o auxilio de uma poderosa armada. Por este tratado, a Russia ficou com a posse integral do territorio norte do rio Amur. Assim é que, pelo meiado do seculo XIX, a Russia czarista envolveu Mandchuria por tres lados. A negligencia economica do territorio adquirido e a distancia um tanto longa da séde do governo central da Russia, resultou, entretanto, em fracasso o serviço de exploração territorial. Desta forma, a sua politica aggressiva no Extremo Oriente teve, inevitavelmente, que soffrer uma longa solução de continuidade. Este facto deve tambem á preferencia da Russia pela conquista da Asia proxima e central naquella época.

2. A intervenção das tres potencias como o preludio do avanço russo na Mandchuria.

O auge da guerra entre os potencias em torno de seus "direitos" na China foi em 1890, estando imminente o choque entre a Russia e Nippon. Esta idéa deve ter sido nascida do notavel contraste entre a politica das duas nações: emquanto a Russia consistia em auxiliar, com a maior amplitude, a acquisição das colonias, indispensaveis para a expantão do seu capital incrementado no paiz, o Nippon seguia a de defesa legitima, exigindo o minimo indispensavel para a segurança propria no Extremo Oriente, contra as pressões exercidas pelas potencias. Em seu livro escripto em 1862, sobre a situação da Asia d'Este, "sir" Rutherford Alcock, primeiro ministro acreditado ao Nippon, se referiu á conquista russa na China e Saghalien, demonstrando como a politica "colonisadora" russa daquelle tempo era aggressiva no Extremo Oriente.

A China desde aquelle tempo se manifestou hostil contra nós, quando temos interesses communs para defender contra o attentado russo, ambicioso de assumir o controle das costas pacificas, mostrando-se sympathica á Russia. Assim é que em 1894 o Nippon se viu compellido a declarar guerra contra o "leão dormindo", nome pelo qual era popularmente conhecida a China naquelle tempo.

(*Continúa*)



怪奇探偵 幽鬼

仲郷三郎（雀提原隆）

【17】

夢資の闘争（一）

彼は何者だか分らなかつた。恐らくは、争議團の中の一員であつたらう。しかし、誰もその姓名を語る者がない處を見ると、或はこの勞働争議にも應援の勞働黨からの、猛者であつたかも知れない——。

「生活權を確立せよ」

彼のスローガンは長い旗となつて、高い森山紡績の第一煙突からブラ下げられた。

碧く澄み切つた冬の大空にぬつと突立つた百二十尺の大煙突、その上に寒風に吹き曝され乍らも頑張つてゐる一つの魂……それを思ふと、下界の争議團は、一層涙ぐましい緊張の度を加へて行つた。

煙突男を救へ！

同志を助けよ！

聲は叫びとなり、叫びは行動に移される！

社長に逢はせろ！

社長は何故に會見を避けるか！

あの煙突男を徒らに餓死させるな！

行動は遂に潮のやうな勢ひで、會社側と争議團とを區切る柵に向つて押し寄せて行つた。めりめりッ、といふ凄まじい響き。ウアーッといふ喚聲。

その狂亂怒濤のやうな土地の混雑から、ぬッと突き出した百二十尺の煙突の上で、しきりに旗を振つてゐる男の、滑稽な、しかも悲壮な風景は確に日本の勞働運動の新戦術の、尖端的な姿ではあつた。

「おい。正木君はどうしたんだ」

會社の事務所へ駆けつけた剛蔵は、苛々し乍ら、事務員達を叱り飛ばした。

「ハア、先刻一寸、行く處があると申しまして、御出掛けで」

「出掛けた？」

「ハア」

剛蔵の權幕にハラ〳〵した事務員は、自分が叱られても居るやうに、堅くなつて云つた。

「馬鹿ナ！ この忙しい時に……眼はないから、警察の手を借りて、あの男を引摺り下して仕舞へ」

「あの男と申しますと……」

正直な事務員が、怪訝な顔で云ふと、

「分らんか！ 煙突男だ」

剛蔵の大きな聲が、隣の部屋に迄響いたと見えて、事務所に集つてゐた連中は、顔を見合せて、くすくす笑ひ出した。

「大將大分慌てゐるナ」

「不断のことをして置かないで、いざとなつて躍ぎ立てる奴サ」

「些か滑稽といふものさ」

社員達は、てんでに、蔭口を利いては、平常の鬱憤を晴らしてゐた。

「つまり、我身をつねつて、人の痛さを知れといふ處が、身に染みて貰ひたいね」

「さうさ、人の事ぢやアないよ。職工だつて我々だつて、實質的には同一なんだからなア」

と一人が感慨深さうに云ふと、

「さうだとも」

と一人が合槌を打つ。誰も事務を取らうとする者はないみんな、時々起る喚聲を、不安な、しかも何かなしに痛快らしい心持で聞いてゐた……

剛蔵が、じり〳〵して待つてゐた正木は、一向に埒があかず、何處からか戻つて來た。

二人は、一室の中に閉ぢ籠つて、何かひそ〳〵と會談をしてゐたが、やがて、扉を開けて出て來た二人の顔には、薄氣味悪い笑ひがあつた。

「おやア、會ひたいと云ふ連中を、呼んで貰はうぢやないか」

剛蔵が、落着き拂つて云ふと、正木は

「承知致しました。早速、人數を限つて、親愛な事のないやうにして、連て參ります」

と、頭を下て出て行つた。

（面白いナ。いよ〳〵御會見だ）

事務員達は、腹の中で、それぞれに愉快な、痛快な場面を想像してゐた。

Gabriel Gonçalves & Cia

金物類・食器類・チンタ類

"Petromax" "Graetzin" 印ガソリン、アルコール使用ランプ

建築材料、驅虫劑、等在庫豊富

◆ 日本人の皆様に大變御高評を ◆
◆ 戴いて居ります…… ◆

破格御値段

本店 Rua Florencio de Abreu, 101
Casas Gonçalves 支店 Rua General Carneiro, 17-19
同 35-37
同 53-55
Caixa Postal, 388 — São Paulo

賣住宅地

電車乗合自動車の通ずる最良住宅地長期賣出し開始、場所バイロ・デ・ビラ・マリアーナ、地權確實、御希望の御方には何時でも書類御見せ致します

御照會は Rua João Briccola, 10 - c°. andar sala 639 a 631

御照會は日本文にても可

RENATO FLORINO
Galeria Guatapará
Loja N. 21
Rua Barão de Itapetininga, 112
S. Paulo

極上のプレゼントは當店の品で……
各種木、蛇皮、蝶羽等ブラジル特産製品

印ナンアビ 殺蟻器

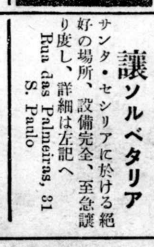
Arthur Viana & Cia
Ltda C. P. 3520
R. S. Bento 100
S. Paulo

割烹

佐藤初江

R. Thomaz de Lima, 231
Tel. 2-5432 - S. Paulo

セシンは國産 イムペリアル



Caixa 3132 S. Paulo

J. S. Ipplito
L. Marinus
T. E. Simon

為替仲立人
輸入輸出に關する一切の御應じます
照會に

Escrip. Suplicy
R. da Quitanda, 96
Sala 109 Tel. 2-5137

讓ソルベタリア

サンタ・セシリアに於ける絶好の場所、設備完全、至急譲り度し、詳細は左記へ

Rua das Palmeiras, 31
S. Paulo

老いも若きも幼きも健康第一に、常に品質と傳統を誇るリベイラ紅茶と絲茶を召しませ

CHÁ RIBEIRA PRETO

聖市シヤリベイラ喫茶部
キンゼ・ノーベンブロ三八
倉庫部 タバチンガ
一ラ六十八番